

中部日本ニュース

シネスコ版

高野=2-ス No 34/
片瀬=2-ス No 16P
中口=2-ス No 182

No. 506

38. 9. 27

一、天皇ご一家厚子さんを見舞う。

天皇・皇后両陛下は九月十六日敗血症で岡山山大学付属病院に入院中の池田厚子（第四皇女）さんをお見舞いされ、平木教授のご案内でお見舞いになられました。

病室の両陛下は終始細やかな「親子の情」を示され、夫君の隆政さんも非常にお喜びになり、一日も早く元気になってくれることを祈っていますと語っていました。

また、山口国体夏季大会に御臨席の皇太子ご夫妻も十八日その帰途、岡山に立寄り、おねえさまを見舞われました。

一、動物天国

今年の動物愛護週間もお犬様ネコ族以下ペット達にはありがたい「愛しましょうムード」のうちめでたく終りました。

ところが飼主にはかわいなお犬様も郵便屋には最大の敵、かみつかれ、ほえつかれ、犬族一四〇万頭を相手に苦難の日々。

それにおうちをかけるようにライオンからヘビ、トカゲ、ワニにいたるまで恐いのからきもちのわるいものまで飼う家がめっきりふえた今日今頃です。

このように変わったものを飼うブームをよんだのは煩瑣な文明社会の生活の疲れのなせることか、ともあれこの動物たちには野性や原始へのユメが働くようです。

アイモ風土記

一、中京スーパー

かつては偉大なる田舎——とまで卑下された名古屋も、今日では独自の経済文化圏を造り東京、大阪につぐ大都市にまで発展しました。

人口も一八五万七千人と急激にふくれあがり、文学通り中京経済圏の拠点となつていきます。その名古屋の今日の発展を、約束づけたのが都市計画で全国戦災都市のモデルケースとして推賞されているもの。

年毎に躍進する名古屋の最大の行事である名古屋まつりが、今年も十月十日から十日間ひらかれることになり、街は活気にあふれています。

6700R

30VOR

2V/OR

114R